

コンパス2017

学校法人 工学院大学

コンパス2017

Compass toward 2017

「コンパス 2017」の命名について

15 世紀の末頃、航海の道具としての羅針盤(コンパス)が発達して、星の見えない曇天の夜でも航海が可能となり、目的地に早く正確につくことが出来るようになりました。これにより大航海時代が始まり世界は大きく発展しました。

大学を取り巻く環境も少子高齢化、グローバル化の進展など先の見えない曇天の夜のような状況の中、150 周年に向け「VISION150」で掲げた理想と目標を着実に達成するために 6 年ごとに 4 回組む中期計画は日頃の学校運営や学校経営の羅針盤としての役割を果たすこととなります。

今年 125 周年を迎え 150 周年に向け新たに一步を踏み出す第一回目の中期計画を(2012 年～2017 年)「コンパス 2017」と命名したのはこのような理由からです。

学園の学生、生徒、教職員全員でコンパス 2017 に掲げた施策を確実に遂行して目標を達成することにより、さらに素晴らしい誇れる工学院大学・附属中高へと発展させて行きましょう。

目 次

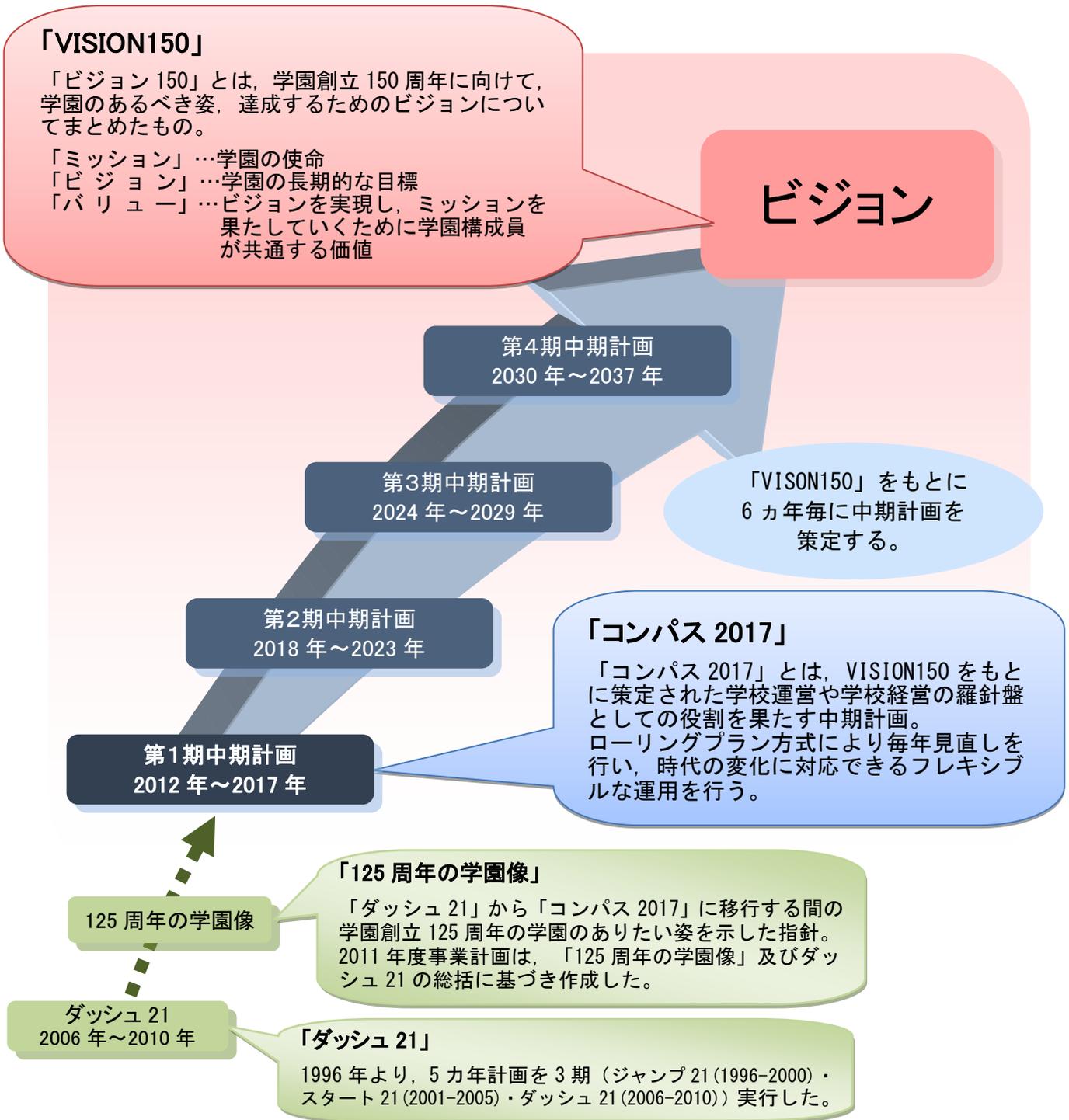
1. 「コンパス2017」	1
2. 中期計画ローリングプラン方式	2
3. 中期財務計画	2
4. 中期計画「コンパス2017」の目標	3
5. 中期計画「コンパス2017」の重点施策	4～6

1. 「コンパス2017」

本学園は、これまでに中期計画ジャンプ21(1996-2000)・スタート21(2001-2005)・ダッシュ21(2006-2010)を策定し、着実に実行した。さらに、2012年度にスタートする新中期計画の名称は「コンパス2017 ~ Compass toward 2017 ~」である。

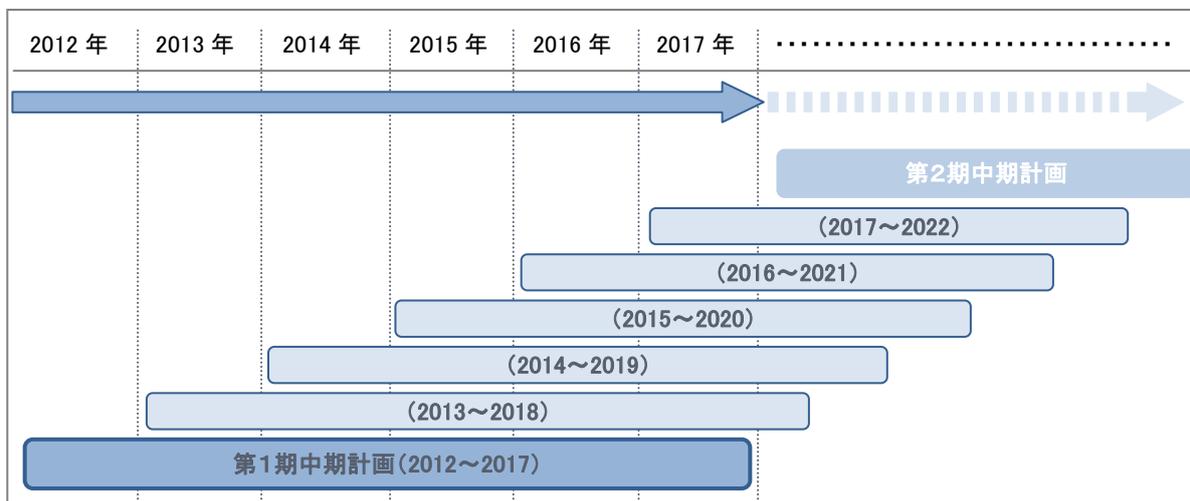
学園創立125周年を迎える2012年は、150周年に向けた第一歩を踏み出す年でもある。すなわち、新中期計画「コンパス2017」は、本学園が次世代の150周年に向け、学園の理念とミッションを踏まえ、計画を着実に実行に移すための指針である。

そして、新中期計画「コンパス2017」の指針に沿って単年度の事業計画を策定する。



2. ローリングプラン方式

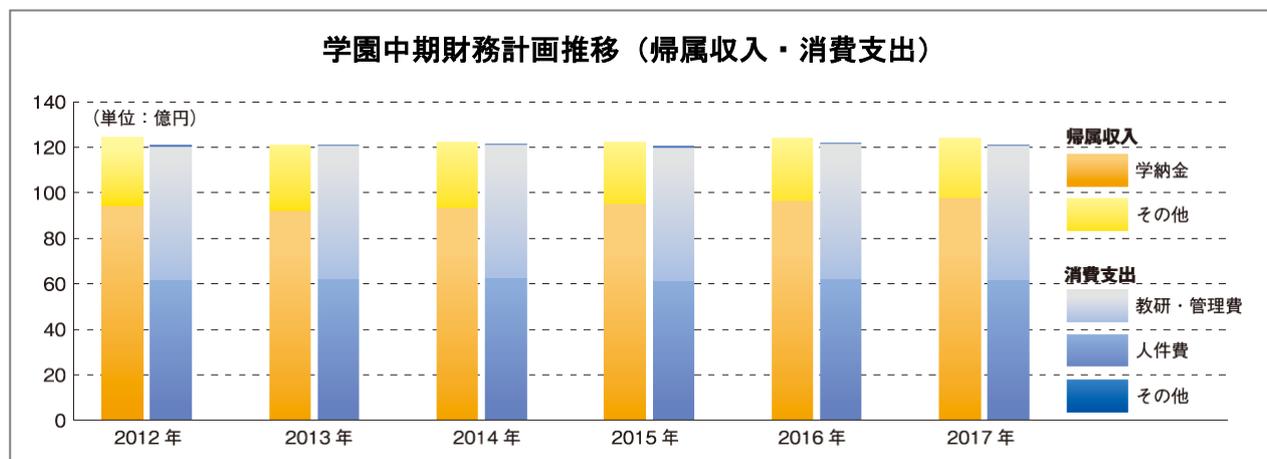
新中期計画「コンパス2017」は、学園創立150周年のビジョンである「VISION150」の実現に向け、2012年から2037年の25年を4期に区分した第1期の中期計画である。この新中期計画「コンパス2017」は、ローリングプラン方式により毎年見直しを行い、時代の変化に即した戦略のもと、6年毎に新中期計画を策定する。



3. 中期財務計画（2012年～2017年）

大学を取り巻く環境は、日本経済の不透明感が継続する中、少子化や私学助成の抑制など年々厳しくなっており、今後もこの傾向が一段と強まることが予測される。このような環境下において、学園が将来に向けて永続的に発展していくためには、健全な財務体質の維持と学納金収入のみに依存しない収入源の確保を図ることが重要になる。

中期計画「コンパス2017」の6年間の事業計画を見通した財務計画として運営する。従来以上に事業計画と財務計画の連動を高めることを目指す。ただし、毎年見直しを行う。



4. 「コンパス2017」の目標

新中期計画「コンパス2017」は、大学・中高と、大学と中高を支える全体戦略から構成されている。その内容は、大きな指針である目標とそれを実現するための重点施策（4ページ以降）から成っている。



5. 「コンパス2017」の重点施策

■大学

I. 社会のニーズに応じた学部・コースの改革と新設

- ✓ 外部連携，国際化，複数専門をにらんだ新学部の設置
- ✓ 学位取得または教員免許取得を前提とした社会人対象の新コースの設置
- ✓ 既存学部・学科の改革

II. 大学院の強化と研究環境の整備

- ✓ 高度専門的職業人を育成する大学院教育の改革（大学院進学率の向上）
- ✓ 創造的研究活動を支える環境の整備

III. 学生が自らの未来を描く教育プログラムの改革

- ✓ キャリアを描き実現するための戦略的教育の実施
- ✓ 教育の質保証をめざした教学改革

IV. 学生の活気あふれる教育・研究環境の実現

- ✓ 多様な学生で構成されるキャンパスの構築（女子学生・留学生の積極的獲得）
- ✓ 課外活動の活性化

V. 新たな教育・研究体制の構築（教育・研究マネジメント体制の強化）

- ✓ 科学技術の動向を把握し，戦略的研究ドメインの設定
- ✓ 教育・研究成果に対する評価とフィードバックシステムの構築

VI. マネジメント体制の再構築（大学のガバナンス強化）

- ✓ 学長をトップとした意志決定システムの再構築
- ✓ 中期計画，事業計画に沿った事業の実施
- ✓ マネジメント環境の整備

■中高

I. 中高大一貫教育体制の構築

- 中高大院一貫教育プログラムの実践
- 工学院大学の単位先取り制度の導入
- 高大6年間の卒業制度の構築

II. 学力の向上と学習環境の整備

- 大学生によるチューター制度の導入
- 家庭学習の充実

III. 教育力の向上と教育評価制度の確立

- 教科目標の設定と成果の公表
- 教育評価体制の確立
- 教員の他校での研修
- 中高大教職員の交流制度の構築
- 新任教員の企業研修と SST への参加の義務化

IV. 科学的論理思考を育成する教育の推進

- 工学院オリジナル教育の策定
- 理科教育センターとの連携強化（理科教育の強化）
- SPP の実現と SSH への基盤づくり

V. 国際交流の推進

- 留学生・帰国子女の積極的な受け入れ
- ホームステイの推進

■ 学園全体

I. マネジメント体制の再構築（強固でスピーディーなマネジメントの実現）

- 責任と権限の明確化
- 経営インフラの改善
- 目標管理制度の実施
- 大学，中高，学園のガバナンス強化
- 戦略的経営の推進

II. 適切な評価に基づく教職員の資質向上

- 人事政策（採用・育成・研修・評価・ローテーション）の確立
- 学内外における積極的な人事交流・研修

III. 学園のドメイン拡大と社会連携の強化

- 社会連携戦略を踏まえた他機関との連携の実施
- 卒業生ネットワークの強化

IV. 国際化対応の推進

- 国際化コンセプトと施策確立
- 環境の整備